

# 主要機械設備の老朽化は深刻 日本共産党議員団が(株)杜氏の郷を視察

5月31日、日本共産党議員団は吉川区にある(株)杜氏の郷の視察をしました。

今秋にも民営化するという方針が出ているなかで、同社の現状、とりわけ、機械設備がどうなっているのかをこの目で確認しておきたいということで、会社と連絡し、見せていただけてきました。この視察には市の産業観光交流部長、産業政策課職員なども来て、説明してもらいました。

(株)杜氏の郷の創業はいまから20年ほど前になります。創業当初、その後と、何回か視察させてもらっています。が、全体として老朽化したという印象でした。とくに酒の造り、販売には

絶対不備があつてはならないタンク冷却用冷凍機や製品保管用冷蔵庫、洗瓶機など主要機械、設備に故障、不具合などが起きていることは見逃すことができない深刻な問題だと受け止めてきました。

左下の写真は酒瓶にラベルを貼る機械の説明を受けているところですが、ラベルを貼ったあとで歪みや膨らみなどが出てしまい、手直しにかなりの時間をとられて、機械としての能力はほとんどなくなってしまうとのことでした。

左上のイラストに描いた冷蔵庫にいたっては、一昨年から夏場に何度も停止して、気づくのが遅れると酒が

売り物にならなくなる、という状況でした。

この他にも、劣化、老朽化が進んでいて、早急に交換、更新すべきものが少なからずありました。

こうした状況のもとでも、スタッフのみなさんは苦勞して酒造りに頑張っておられることがよくわかりました。

今回の視察で確認できた課題については、民営化方針のもとで、今後どういふふうに対応していくのか議会で訊く予定です。



【オニタビラコ】キク科の越年草。漢字で「鬼田平子」と書きます。畑や道端に自生している雑草のひとつです。草丈は小さいもので20センチくらい、大きいものとなると1メートルくらいあります。茎の最上部に多数の黄色の花を咲かせます。花期は5月～10月。でもほぼ年中咲いています。花言葉は「仲間と一緒に」です。写真は5月16日、吉川区小苗代にて撮影。

## 6月議会審議日程 (開会はいずれも午前10時から)

	会議	場所	備考
6月7日(火)	本会議	議場	議案提案
6月8日(水)	厚生委員会	第一委員会室	付託案件の審査
6月9日(木)	農政建設委員会	第一委員会室	付託案件の審査
6月10日(金)	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件の審査
6月13日(月)	総務委員会	第一委員会室	付託案件の審査
6月14日(火)	一般質問	議場	
6月15日(水)	一般質問	議場	
6月16日(木)	一般質問	議場	
6月17日(金)	一般質問	議場	橋爪登壇の予定
6月21日(火)	本会議	議場	議案採決他

## 6月定例議会は7日から

上越市の6月議会は7日から21日まで、今議会では、今年度一般会計補正予算などが提案されます。

一般会計補正予算では、新型コロナウイルススワクチンの高齢者等への4回目の接種等に要する経費のほか、公の施設の修繕経費などが盛り込まれています。



吉川区小苗代池に咲くコオホネ

はしづめ法一の  
活動レポート

No.2062 2022.6.5

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見たある記」は  
←こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第七一〇回 忘れられない味

なんということでしょう。兄弟で同じことを考え、同じ行動をしていたのです。

先日、近くの雑木林の縁で、今年初めてキイチゴを採って食べました。例年よりもかなり早く実ったので、見つけた時はびっくりしました。その実った様子を写真に撮りインターネットで発信しましたが、大潟区に住む弟もほぼ同じタイミングで同じことをしていたことがわかりました。

キイチゴにはいろいろな種類があるらしいのですが、私が発信したのはバラ科の黄色いつぶつぶの実をつけるイチゴです。私が住んでいる地域では、キイチゴとかサガリイチゴと読んでいます。正式にはモミジイチゴと呼ぶのだそうです。

この時期、なぜキイチゴに惹かれるのか。その理由はただ一つ、子どもの頃から大好きな野の食べもので、忘れられない味となっているからです。

私の記憶は旧源小学校水源分校時代にまでさかのぼります。当時、私は旧吉川町の山間部にある虫場(ほたるば)というところに住んでいました。いまのように食料が十分にあるわけではありません。学校の行き帰りの最大の関心事は、勉強のことも遊びのこともなく、食べられるものがあるかどうかでした。

春になれば、野草のなかでおやつ代わりにするスイッカシ(正式名はスイバ)、スキャンボ(正式名はオオイタドリ)を見つけては食べていました。いずれも適度の酸味があって美味しかったのです。

わが家の田植えは毎年六月四日と決まっています。キイチゴはその後一週間ほどで食べられるようになると思います。

野で採れる食べ物のなかで、キイチゴは王様と言ってもよいものでした。大きさは直径一センチほどで、甘味もあり、黄色でつやつやした実には上品さがありました。

私がキイチゴを採りに行ったのは、釜平

川を挟んで南側にある田んぼの土手です。ここにキイチゴの木がたくさんあったので

す。土手から七、八メートルの太さの茎が二メートルに伸びて、垂れ下がっていました。そこに一枝あたり五、六個の黄色のイチゴが実っていました。多く採れた時は、弁当箱にいっぱいになりました。垂れ下がった姿が影響したのでしょうか、このイチゴをサガリイチゴと呼ぶ人がけっこういました。

さて、インターネットで発信した反応です。投稿を読んだ人たちからは、「昔良く食べました」「懐かしい。食べたいよお」「黄色のが美味しいですよね」「最初、イクラかなと、思いました。食べたい」などといったコメントが相次ぎました。これらのコメントを寄せてくださった人たちのほとんどは昔、キイチゴを食べたことがある人です。この人たちにとっても、キイチゴは忘れられない味だったんですね。

この日の翌日の朝のこと、高崎市で独り暮らしをしている従姉(いとこ)から電話がありました。「頭がふらふらする」とか言って、自分の娘のところにテレビ電話をするつもりだったのが、間違って、私のところにかかってきたのです。

たまたま外でテレビ電話をしていたので、ふと思いつき、近くににあった桑イチゴの実やキイチゴの実を見てもらいました。

「えーっ、これって桑イチゴ?」「懐かしい、この黄色のイチゴ、よく食べたのよ」

そう言って従姉は大喜びしました。声を聞かざり、頭のふらふらは完全にどこかへ行ったようでした。

従姉は戦中、わが家で疎開生活をしていました。私よりもひと回り以上年上ですが、やはり、子ども時代、キイチゴや桑イチゴなどを食べていたんですね。この忘れられない味、今年はまだ一週間ほど楽しめるそうです。あなたも食べてみませんか。

## 原発、病院再編などで新たなたたかい決意



注目された新潟県知事選挙は5月29日投開票で行われ、現職の花角英世候補が、新人候補の片桐なおみさんを破って、再選を果たしました。市民と野党の共同の取組の中で片桐さんは203,845票を獲得しましたが、及びませんでした。



片桐さんは選挙戦で、「原発なくして病院のこす」

のスローガンのもと、県民の命と暮らしを守る政策を訴え、共感を広げました。これらの政策と訴えは県政のあるべき姿を示した点で重要です。今後の県政に影響を与えるものと確信します。

選挙での当落が判明した段階で片桐さんは挨拶し、「私としては選挙戦の1つひとつが感動だった。頑張ってくれて本当に良かったという声もいただいた。負けたけど、間違いないことをしてきたと実感した。なんのこれしき、という思いだ」「私たちの方に正義はあると確信している。今日からが、原発をなくす新たな始まりだ」とのべ、公約実現に向けて引き続き頑張っていく決意を表明しました。素晴らしい挨拶でした。

イラストは女性サポーターと一緒に片桐なおみさん(右から2人目)です。

### 上越市での知事選結果

候補者名	得票数	得票率
片桐なおみ	17,521	22.9%
花角英世	59,030	77.1%

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	5月25日(火)	6月1日(水)
上越南消防署	0.053	0.057
上越北消防署	0.043	0.043
新井消防署	0.057	0.057
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.047	0.040
名立分遣所	0.060	0.053
高士分遣所	0.043	0.047